化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版D

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.7 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 24 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22 g と結びつく酸素は何 g か。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 20.8 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Dの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.7 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 11.8 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 10.5 g

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 24 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 6 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3.4 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 5.5 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 11 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 15.5 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 20.8 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 26 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 29 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 2.6 g